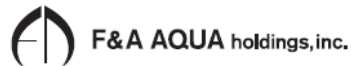


株式会社F & Aアクアホールディングス
(東証一部 8008)

第61期(2011年2月期)決算説明会

2011年4月11日



Contents



- I. 2011年2月期決算概要と総括
- II. 経営課題と重点施策

(株)F & Aアクアホールディングス 代表取締役社長 木村祭氏

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

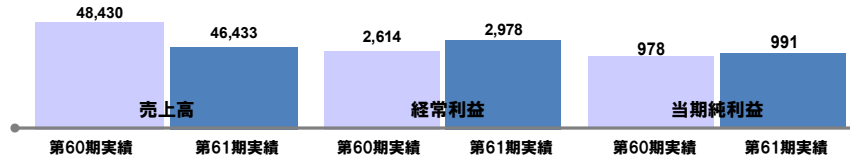
1. 業績の概要(連結)



減収ながら 経常利益・当期純利益増益達成

営業収益 464億円(前期比4.1%減) 営業利益 25.0億円(前期比3.6%増)

経常利益 29.8億円(前期比13.9%増) 当期純利益 9.9億円(前期比1.4%増)



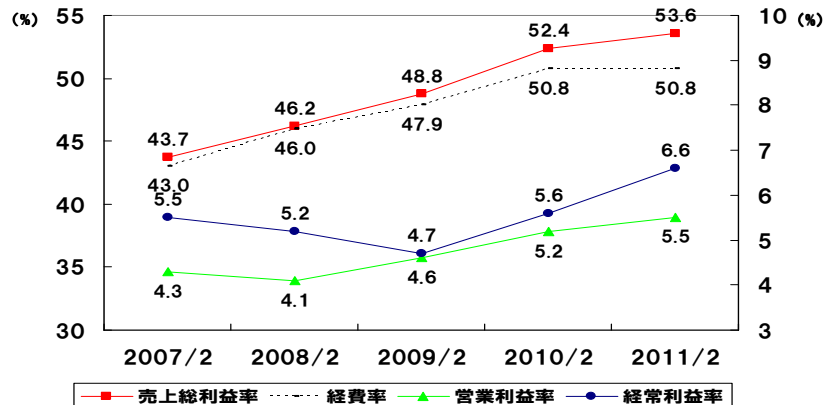
(百万円、%)	第60期(2010/2)		第61期(2011/2)		前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)		
営業収益	48,430		46,500		△4.1	△0.1
売上高	46,779	100.0	45,300	100.0	△3.3	△0.2
売上総利益	24,528	52.4	24,120	53.2	△1.1	+0.5
売上総利益率	52.4		53.2		+1.2	+0.4
販売費及び一般管理費	23,767	50.8	22,770	50.3	△3.4	+0.8
営業利益	2,412	5.2	2,550	5.5	+3.6	△2.0
経常利益	2,614	5.6	2,900	6.4	+13.9	+2.7
当期純利益	978	2.1	1,050	2.3	+1.4	△5.7

3

2. 利益率の改善



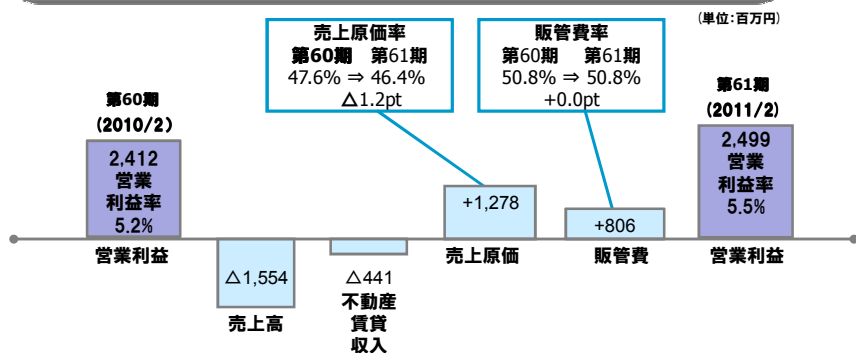
売上総利益率、営業利益率、経常利益率が向上



4

3. 営業利益の増減要因

- 原価率の低減
 - ・営業収益が減少した一方、原価率を1.2pt低減させ46.4%
- 販管費額は減少、販管費率は横ばい
 - ・販管費額：人件費、借地借家料などのコスト削減に努め減少
 - ・販管費率：売上高減少も経費削減で横ばいの50.8%



5

4. 営業外・特別損益 他(連結)

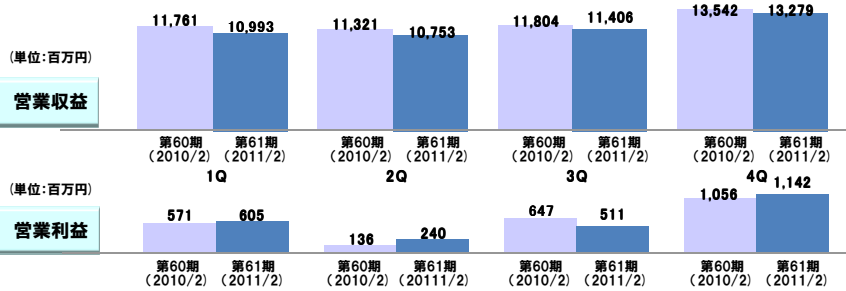
(単位:百万円)

段階利益	第60期 (2010/2)	第61期 1Q期間	第61期 2Q期間	第61期 3Q期間	第61期 4Q期間	第61期 (2011/2)	前期比(%)
営業利益	2,412	605	240	511	1,142	2,499	3.6
営業外収益	306	139	117	137	151	545	78.3
営業外費用	103	22	130	13	17	67	△35.4
経常利益	2,614	721	344	635	1,276	2,978	13.9
特別利益	897	—	19	4	4	24	△97.3
特別損失	1,414	800	△96	△85	16	962	△31.9
税金等調整前当期純利益(損失)	2,097	△78	267	553	1,296	2,039	△2.8
法人税等	1,437	163	284	373	943	1,330	△7.3
法人税等調整額	△318	△497	73	△9	△281	△281	37
少数株主利益	0	0	△0	△0	△0	△0	△0
当期純利益	978	255	△89	189	635	991	1.4

6

5. 四半期業績の推移(期間3カ月)

- ・第3四半期までほぼ前期並みの推移、利益は確保
- ・第4四半期、Xマス商戦善戦、アパレル冬物順調、営業利益大幅増益



(百万円、%)	1Q		2Q		3Q		4Q	
	第60期 (2010/2)	第61期 (2011/2)	第60期 (2010/2)	第61期 (2011/2)	第60期 (2010/2)	第61期 (2011/2)	第60期 (2010/2)	第61期 (2011/2)
営業収益	11,761	10,993	11,321	10,753	11,804	11,406	13,542	13,279
営業利益	571	605	136	240	647	511	1,056	1,142

7

6. 財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産514億円、負債136億円
- 棚卸資産、法人税等の支払額の増加等で営業CF20億円減少
- 短期借入金、社債の償還額、自己株式の取得の減少等で財務CF32億円増加

財務状況

総資産 514億円	136億円	負債
	378億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

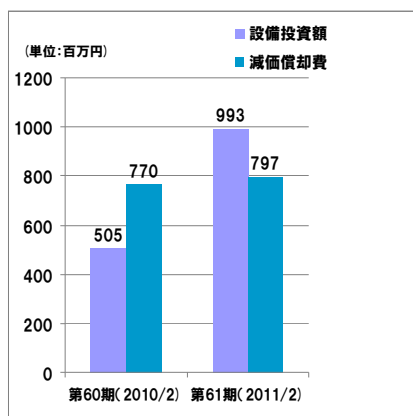
	第60期 (2010/2)	第61期 (2011/2)	
営業CF	4,847	2,858	・棚卸資産 Δ 1,438百万円 ・法人税等の支払額 Δ 450百万円
投資CF	Δ 384	Δ 966	・固定資産取得による支出 Δ 580百万円
財務CF	Δ 5,103	Δ 1,904	・短期借入金の純減額 2,140百万円 ・社債の償還額 320百万円 ・自己株式の取得 267百万円
フリーCF	4,463	1,892	

8

7. 設備投資・減価償却費の概要(連結)



設備投資額 : +488百万円 減価償却費 : +27百万円



(百万円、%)	第60期(2010/2)		第61期(2011/2)	
	実績		実績	前期差
設備投資額 (CFベース)	505		993	+488
敷金・保証金	△140		24	+164
合計	365		1,017	+652

(百万円、%)	第60期(2010/2)		第61期(2011/2)	
	実績		実績	前期差
減価償却費	770		797	+27

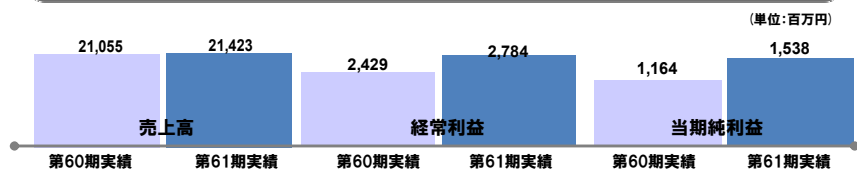
9

8. 各事業グループ別業績の概要



① FDCプロダクツグループ

- ・ 増収大幅増益、計画値を上回る健闘、最高経常利益更新
- ・ 4℃BRIDALの出店拡大
- ・ 「canal4℃」、「EAUDOUCE4℃」好調、「4℃」バッグ黒字転換

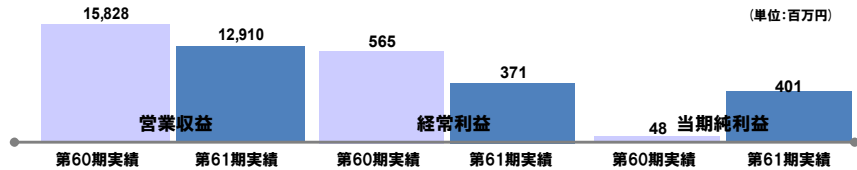


(百万円、%)	第60期(2010/2)		計画	第61期(2011/2)		前期比 増減(%)	計画比 増減(%)	
	実績	(%)		実績	(%)			
売上高	21,055	100.0	20,897	100.0	21,423	100.0	+1.7	+2.5
営業利益	2,324	11.0	2,448	11.7	2,686	12.5	+15.6	+9.7
経常利益	2,429	11.5	2,525	12.1	2,784	13.0	+14.6	+10.3
当期純利益	1,164	5.5	1,218	5.8	1,538	7.2	+26.3	+32.1

10

② アスティグループ

- ・(株)上田靴下と不動産賃貸収入の減少で減収減益
- ・(株)上田靴下の解散による税効果で当期純利益増益

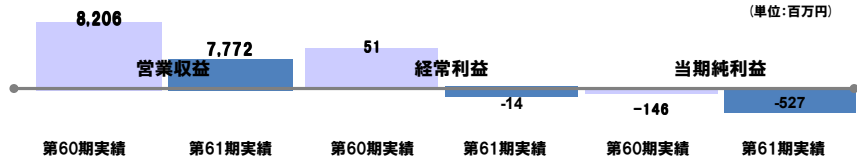


(百万円、%)	第60期(2010/2)		計画	第61期(2011/2)		前期比 増減(%)	計画比 増減(%)	
	実績	(%)		実績	(%)			
営業収益	15,828	100.0	13,382	100.0	12,910	100.0	△18.4	△3.5
営業利益	373	2.4	166	1.2	76	0.6	△79.7	△54.2
経常利益	565	3.6	394	2.9	371	2.9	△34.2	△5.6
当期純利益	48	0.3	120	0.9	401	3.1	+773.9	+235.0

11

③ (株) 三鈴

- ・減収減益
- ・消費者マインドの低下で、客単価維持も客数減少
- ・新店の不振、売上高苦戦

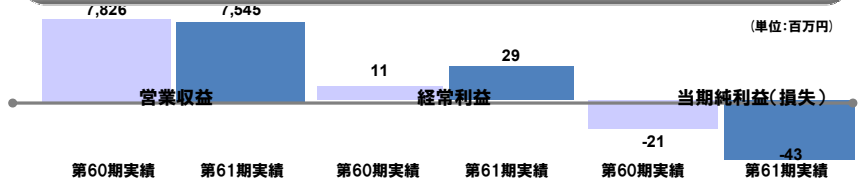


(百万円、%)	第60期(2010/2)		計画	第61期(2011/2)		前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)	
	実績	(%)		実績	(%)			
営業収益	8,206	100.0	8,632	100.0	7,772	100.0	△5.3	△10.0
営業利益	36	0.5	251	2.9	△40	-	△76	△291
経常利益	51	0.6	260	3.0	△14	-	△65	△274
当期純利益 (損失)	△146	-	113	1.3	△527	-	△381	△640

12

④ 概アージュ

- ・ 減収、経常利益増益
- ・ 「LOU」、「ラポール」苦戦も「パレット」善戦
- ・ 資産除去債務とポイント引当で当期純利益減益



(百万円、%)	第60期(2010/2)		第61期(2011/2)		前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	実績		
営業収益	7,826	100.0	7,930	7,545	△3.6	△4.9
営業利益	0	—	49	22	+22	△27
経常利益	11	0.1	52	29	+163.6	+44.2
当期純利益 (損失)	△21	—	△13	△43	△22	△30

13

9. 各事業会社別出退店・改装の状況

		FDCプロダクツグループ					(株)三鈴	概アージュ	合計
		ジュエリー*			4°C バッグ	カフェ			
		4°C	その他	計					
2009/2	期末	102	36	138	42	24	(106)	92	402
2010/2	出店	15	0	15	6	0	9	4	34
	退店	5	9	14	24	3	8	10	59
	期末	112	27	139	24	21	(107)	86	377
	改装	6	1	7	1	0	7	0	15
2011/2	出店	21	2	23	0	0	10	8	41
	退店	4	3	7	3	4	19	7	40
	期末	129	26	155	21	17	98	87	378
	改装	3	4	7	0	0	13	0	20

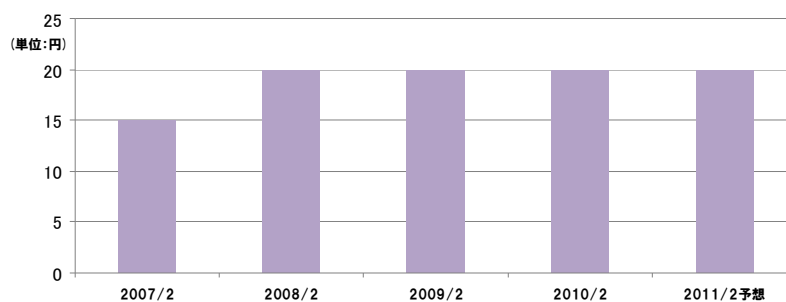
* 海外店舗含む 4°C:4°C、EAUDOUCE4°C、canal 4°C、4°Cプライダル その他:RUGIADA、JOAQUIN BERAU、CELINE
()内は(株)三鈴、(株)メイ(DADA)合計

14

10. 配当



2011年2月期 配当予想 1株当たり 20円(中間10円 期末10円)



	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2 (予想)
1株当たり年間配当金(円)	15	20	20	20	20

15

11. 2011年2月期総括



減収大幅増益 利益計画も大幅達成

***戦略の徹底が好業績に結実**

1. FDCプロダクツグループ **新チャネル出店戦略の推進
ファッションジュエリー強化**
2. アスティグループ **既存事業の利益改善**
3. (株)アージュ **パレット本部関西移転効果で増益**

課題 (株)三鈴の業績改善

16

12. 2012年2月期連結数値計画



減収増益計画

営業収益450億円(前期比3.1%減)、営業利益27億円(前期比8.0%増)
 経常利益30億円(前期比0.7%増)、当期純利益12億円(前期比21.1%増)

(百万円、%)	第61期(2011/2)		第62期(2012/2) 当初計画		第62期(2012/2) 修正計画		前年 同期比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	計画	当初計画差	
営業収益	46,433		47,000		45,000	△2,000	△3.1
売上高	45,225	100.0	46,013	100.0	43,988	△2,025	△2.7
売上総利益	24,252	53.6	24,947	54.2	24,803	△157	+2.2
売上総利益率	53.6		54.2		56.4		+2.8
販売管理費	22,961	50.8	23,084	50.2	22,090	△994	△3.8
営業利益	2,499	5.5	2,900	6.3	2,700	△200	+8.0
経常利益	2,978	6.6	3,200	7.0	3,000	△200	+0.7
当期純利益	991	2.2	1,350	2.9	1,200	△150	+21.1

17

13. 事業会社グループ別次期計画(内部取引相殺前数値)



(百万円、%)		第61期 (2011/2)	第62期(2012/2)			
		実績	当初計画	修正計画	前期比・差	計画差
FDCプロダクツ グループ	売上高	21,423	22,798	21,698	+1.3%	△1,100
	営業利益	2,686	2,949	2,799	+4.2%	△150
	経常利益	2,784	3,025	2,875	+3.3%	△150
	当期純利益	1,538	1,621	1,530	△0.5%	△91
アスティグループ	営業収益	12,910	12,212		△5.4%	
	営業利益	76	281		+269.7%	
	経常利益	371	516		+39.1%	
	当期純利益	401	287		△28.4%	
(株)三鈴	営業収益	7,772	6,857	6,057	△22.1%	△800
	営業利益	△40	50	0	+40	△50
	経常利益	△14	50	0	+14	△50
	当期純利益	△527	2	△31	+496	△33
(株)アージュ	営業収益	7,545	8,028		+6.4%	
	営業利益	22	109		+395.5%	
	経常利益	29	110		+279.3%	
	当期純利益	△43	35		+78	

(営業収益には不動産賃貸収入・経営指導料含む。)

18

経営課題



環境面 震災による景気後退と
資材価格の高騰、製造コスト上昇懸念

事業面 FDCプロダクツグループの強化・拡大
(株)三鈴の損益改善

収益面 海外生産コストの上昇

19

重点施策



1. 震災からの復興（2011年4月11日現在）

	(株)FDCプロダクツ	(株)三鈴	計
被災による影響店舗数	73店	70店	154店
長期休業店舗	2店	2店	4店
営業時間短縮店舗	6店	11店	17店
店舗修復費用	4百万円	5百万円	9百万円
売上高	△11億円	△8億円	△19億円
営業利益	△1.5億円	△0.5億円	△2億円
	販売管理費		特別損失
当初計画	23,084百万円		261百万円
修正計画	22,090百万円		296百万円
差額	△994百万円		+35百万円
内容	家賃、人件費、広告費等の削減		店舗修繕費、義援金等

20

重点施策



2.FDCプロダクツグループのマーケット拡大

- ①百貨店既存店舗の強化
- ②新チャネル拡大(ファッションビル、専門店)

	2011/2出店実績		出店計画 (2012/2 3~9月)	1店舗当たり 売上高	1店舗当たり 投資金額
	上期	下期			
Canal4℃	4店舗	3店舗	6店舗	70百万円	30百万円
4℃BRIDAL	5店舗	4店舗	5店舗	100百万円	70百万円
4℃ジュエリー	3店舗	1店舗	2店舗	150百万円	—
EAUDOUCE4℃		1店舗	2店舗	50百万円	—
RUGIADA			2店舗	50百万円	—
CELINE		1店舗	2店舗	50百万円	—
計	12店舗	10店舗	19店舗		

- ③ECビジネスの推進 EC事業課設置 2.4億円→3.5億円計画
- ④海外戦略の推進 上海亜古亜商貿有限公司5月末設立予定
中国マーケットの情報収集、2012年度からの多店舗化準備

21

重点施策



3. (株)三鈴の損益改善

- ①ブランドの確立による売上確保
- ②利益体質の強化

4. (株)アージュの収益拡大

「パレット」関西ドミナント出店等によるマーケット開拓・拡大

5. アスティグループの利益向上

- ①アパレルODM事業の拡大
- ②海外生産背景再整備・集約で海外生産コスト抑制

22

株主還元策



ファン株主へ向け、配当と株主優待で還元

安定配当を基本に、連結営業利益、当期純利益を
勘案し決定

連結配当性向25%以上、営業利益20%を目途

1株につき中間10円、期末10円、年間20円を予定

自社株式取得・自己株式消却 適宜実施

23

おわりに



震災を乗り越え、更なる企業価値向上を目指す

- ・FDCプロダクツグループ 新チャネル開拓による成長
- ・(株)三鈴 ブランド再構築による損益改善
- ・アスティグループ ODM企業グループとしての自主自立
- ・(株)アージュ 「パレット」を核とした収益拡大

24

本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社F&Aアクア・ホールディングス

総務部 大木(オオキ)・渡部(ワタベ)

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-4462

E-mail ir@fa-aqua.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。